

令和5年度 日南市立北郷小中学校 学校関係者評価書

学校の教育目標：確かな学力、豊かな感性、強い体を持ち、21世紀をたくましく生きる児童生徒の育成～幼小中一貫教育の推進と保護者・地域との連携を重視した学校運営の確立～
本年度重点目標：①確かな学力の向上（知） ②豊かな感性を育む教育の充実（徳） ③体力向上・健康安全教育の充実（体） ④特色ある幼小中一貫教育の推進 ⑤学校・家庭・地域が一体となった教育の充実

※ 4段階評価・・・4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

評価項目	評価指標	方策・手立て	ゴールイメージ	自己評価			運営協議会 委員評価	総合 評価	結果考察・分析及び改善策等
				児童生徒	保護者	教師			
① 確かな学 力の向上 (知)	1 授業改善(4+4)を意識した取組を通し、授業力向上と学力向上を図る。	・相互授業参観の実施 ・ICTを活用した検証授業 ・小中合同による学力調査結果の分析、考察、対策の協議	1 タブレットなどのICT機器を活用して、興味関心をもたせ、わかる・できる授業づくりに努めている。	3.2	3.2	3.2	3.4	3.2	○ 各教師が相互に授業参観を行い、改善に取り組んだ。定期的に行うことで指導技術の向上が図れた。
	2 家庭学習の習慣化と充実を図る。	・家庭学習の手引き活用 ・自学ノート等の工夫	2 基礎的な学力を定着させるために家庭学習の充実を図っている。	3.2	3.0	3.0			○ 習熟を図る学習計画を立てたり、指導方法の改善を図ったことで基礎基本の定着を図った。
② 豊かな感 性を育む 教育の充 実(徳)	1 道徳・人権教育を通して、思いやりの心を育てる。	・道徳科の指導の充実 ・人権教育週間の充実 ・学級活動の充実	3 道徳、学級活動の授業等とおして、豊かな人間関係づくりや思いやりの心を育む「心の教育」の充実を図っている。	3.5	2.9	3.0	3.8	3.3	○ 人権教育のレインボープランをもとに思いやりや望ましい人間関係の醸成に努めた。
	2 SDGsの学習や豊かな体験活動や日南ふるさと学習を通して、郷土愛を育てる。	・各学年での体験活動の充実(田植え、茶摘み等) ・異学年間交流活動の充実 ・地域の自然や産業の学習 ・伝統芸能の継承と発表会	4 豊かな体験活動(梅ちぎり、茶摘み、田植え、芋掘り、伝統芸能)とおして、郷土愛を育てる「ふるさと学習」の推進を図っている。	3.2	3.3	3.1			○ 北郷の豊かな自然、伝統芸能、産業等を素材にして、地域の人材を活用して学習活動を計画どおり実施できた。学習発表会で地域の方に披露することもできた。
③ 体力の向 上、健康 安全教育 の充実	1 自他の命を大切にす る児童生徒を育成する。	・「命の大切さを考える日」の設定 講話等の実施	5 早寝・早起き・朝ごはんの奨励と給食時の食育指導を行うと共に道徳や学級活動の授業とおして、生命・人権尊重の精神を育てる教育に努めている。	3.0	3.0	3.0	3.6	3.2	○ 道徳、学級活動とおして、命の大切さや人を思いやる気持ちを培う指導を行った。 ○ 人権擁護団体や他の外部関係機関と連携し、人権と平和を大切にする意識を今後も深めていく。
	2 基本的な生活習慣の確 立に努める。	・栄養教諭と連携した食育指導 ・「弁当の日」(2回)実施 ・給食だより等の発行							
	3 健康教育・安全教育 の充実と体力の向上を 図る。	・定期的なフッ化物洗口の実施 ・交通安全教室の実施 ・計画的な避難訓練と救命講習法 の実施	6 災害に対応した計画的な避難訓練の実施を行い、体育の授業、業間運動や部活動とおして、体力の向上に努めている。	3.2	3.1	3.3			○ 新体力テストから、総合評価は平均値50を上回る児童生徒が少ない今後も握力、シャトルラン、ボール投げの向上を特化した体力向上を今後も図っていく。
④ 特色ある 幼小中一 貫教育の 推進	1 幼小中一貫教育の推 進のため、交流活動や 研修を図る。	・合同研修会の実施 ・一貫教育運営部会の開催 ・幼小中の交流活動の実施	7 幼小中一貫教育を推進するため、園児・児童・生徒の交流活動の充実を図っている。	3.3	3.1	3.2	3.8	3.3	○ 職員間で一貫教育運営部会や合同研修会で児童生徒の情報を共有し、教育活動に生かした。持続可能な保小接続の取組が実施していく。
	2 英語への興味関心を 高め、コミュニケーシ ョン能力の育成を図る。	・教育課程特例校としての工夫 ・シンガポール交流活動の充実 ・英語検定試験の奨励	8 豊かな国際感覚を身に付けた児童生徒を育成するために、シンガポールとの交流活動や英語検定の受検を奨励し、英語教育の向上に努めている。	3.3	3.0	3.3			○ シンガポールの学校の職員の方と生徒が来日し、交流を実施した。久しぶりの開催であったが、子どもたちは、楽しく交流を深めた。日程は、無理のない計画をしていく。
⑤ 学校・家 庭・地域 が一体と なった教 育の充実	1 学校運営協議会を通 して、PDCAによる学校 運営を行う。	・児童生徒、保護者、教職員による 学校評価 ・学校運営協議委員会による評価	9 学校運営協議会、まちづくり協議会、PTAと連携した学校運営に努め、保護者や地域の方への案内(行事等)は、マチコミメールで迅速に伝えると共に、学校の情報は学級通信やホームページ等で情報の発信に努めている。	3.5	2.9	3.0	3.4	3.2	○ 学校運営協議会をはじめ、北郷町まちづくり協議会と連携を深め、学校教育に協力や支援を得ることができた。
	3 地域学校協働活動の 充実を図る。	・地域コーディネーターを中心に 高齢者クラブ・婦人会・公民館長 等、関係機関との協働体制の構築	10 地域コーディネーターを中心に、地域人材(民生委員・児童委員や自治会長なども含む)を積極的に活用している。	3.5	3.1	3.1			○ 地域コーディネーターと連携が密に図られ、地域人材を活用し、教育活動が充実した。 ○ 学校だよりを発行したり、学校のホームページを随時更新したり、学校の様々な情報を広く提供した。